

バク通信

一四二号

令和三年一月十日発行

社会福祉法人「ゼノ」少年牧場

ゆめサポート・バク

福山市神辺町東中条7301-6

TEL (084) 9600-2256

FAX (084) 9600-2258

「新年を迎えて」

管理者 田頭 聖司

新年明けましておめでとう、ございます。

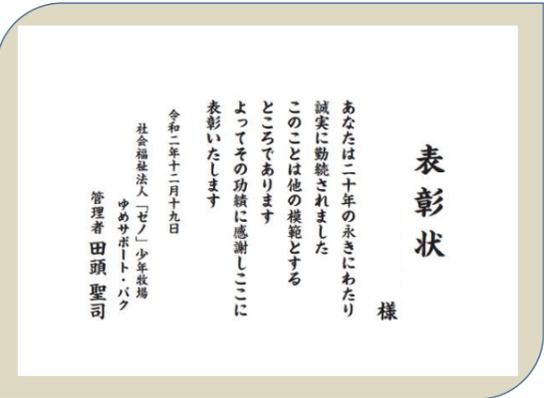
昨年は新種のウイルス感染拡大により、世界中で大きな混乱と悲しみを伴う非常に厳しい年であったと思えます。未だウイルスとの共存は叶わず、戦々恐々とした日々が続いていますが、そのような中であっても、当事業所の運営方針である「障がいの有無にかかわらず、誰もがいきいきと暮らし、笑顔あふれる関係でありつづけたい」との願いを共に支え、共に歩んで下さった皆様に心より感謝を申し上げます。

さて、年の初めには大いに夢を語り抱負を述べるのが通例ですが、昨今の状況を鑑みますと、あたりまえのことを願わずにはいられません。「安心」「安全」「安定」俗に言う3Aが今年のテーマとなると感じています。

3Aと聞くと、守りに入った印象は否めませんが、変革の時期において3Aを実現するためには前向きに変化に向き合わなければならないと感じています。バクでこの3Aを実現するため、昨年も掲げた「一つの見直し」「一つの改善」「一つの削減」からなる「一つの積み重ね」を大切にすることを継続してまいりたいと思います。



昨年十二月十九日に当事業所の行事において「作業所バク」の無認可時代から歴史を二年一年積み上げて、勤続二〇年目の節目を迎えられた方の表彰を行いました。表彰された皆様から、積み重ねていくことの大切さを改めて教わった気がします。



「第一五回もちつき大会」
副主任 生活支援員 大村 和弘
十二月十九日土曜日に、もちつき大会が開催されました。例年は、地域の皆様、保護者の皆様にお声をかけさせて頂いて行っていました。今年度は新型コロナウイルスが流行している為に規模を縮小して利用者・職員のみで行いました。



午後の部は、駐車場にてステージ発表が行われました。勤続二十年表彰、ダンス部によるダンス披露、職員・利用者による出し物、紐くじを行いました。バクで働き始めて二十年経つ方が五名おられ、一人ずつ表彰されました。名前を呼ばれると、元気に「ハイッ」と返事をし、表彰状を受け取っていました。五名の方、おめでとうございます。

ダンス部によるダンス披露では、「恋するフォーチュンクッキー」、妖怪体操第一、さんぼの歌に合わせてのダンス「利用者・職員によるダンス対決」「会場にいる全員でラジオ体操」をしました。利用者・職員によるダンス対決はお互いノリノリで音楽に身を任せて踊る姿が格好良く!! 会場を大いに盛り上げてくれました。

利用者・職員による出し物では、利用者のスティックから花を出すマジックからスタートしました。成功した時は、周りから大きな拍手がありました。大村が後に続けと思いつながらコインをカップに貫通させるマジックやハンカチが消えるマジックをしましたが、どちらも失敗してしまい周りから笑い声が・・・(笑)。その後もテーブルクロス引き、首が胸まで落ちるマジックなどもあり、ダンス披露同様に盛り上がりました。

最後の紐くじは長い紐の先に大小様々な大きさの菓子袋が付いていてどの紐が良いのか考えながら真剣に引っ張っている人がたくさんいました。

利用者の皆さんが嬉しそうに菓子袋を抱えて帰宅され、異例づくめの餅つき大会は何か天候にも恵まれ終了することができました。来年度は、自分たちでついた餅を皆で食べられるよう願っています。



「弁当箱が新しくなったよ」

生活支援員 柴垣 瑞穂

もうお気付きの方が多くとは思いますが、十人十色の弁当箱が新しくなりました。おかず入れの方は色とりどりのカラフルな中身。「十人十色」のロゴもパッチリ入っています。

利用者さんが盛り付けをされるのに「青色のところは〇〇、緑に〇〇」と色で伝えられるので間違いもなくなりました。それと盛りつける枠に対する不安がなくなりましたから、盛り付けペースも早くなったように感じます。

ご飯の容器も新しくなり、おかずの容器とおそろいのふたになりました。新しくなったことで、より一層ご飯がおいしく感じられるのではないかなと思っています。また少量用のご飯の容器も準備し対応するようになりました。こちらの少量用はふたの柄が色々あり、どんなふたの柄に当たるか楽しみの一つになっています。

お弁当箱が新しくなった十人十色のお弁当を、今後ともよろしく願います。



正確な計量！



とってもカラフルなお弁当箱になりました。



盛り付けやすくなりました！

「ジェラートマシン再整備について」

サービス管理責任者 松岡 肖幸

二〇二〇年十二月五日、新たなジェラートマシンの納入となりました。ジェラート部署立ち上げから十一年、沢山のジェラートを製造してくれたマシンにスタッフみんなの前日にお疲れ様ですと声を掛けながら感謝を伝え、納入日を迎えました。

新たなマシンは、以前の機械より製造能力が向上し、量・質ともに優れたジェラートが出来上がります。新たに出来上がったジェラートを試食すると、より滑らかな舌触りのジェラートに皆、「すごい」「おいしい」との感想でした。今回の整備は、ジェラート部署立ち上げ以降、一番大きな整備となりました。整備に際して、入札から納入まで様々な関係者の方にご協力をいただき、この整備を終えることが出来ましたことを心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

新たなマシンでさらに美味しくなったジェラートを皆様に届けて参りたいと思います。今後とも、どうぞよろしく願い致します。



高性能マシンです！

より一層なめらかに



「温まるね〜」

生活支援員 藤井 みゆき

新年明けましておめでとうございます。お正月を迎えるためウエス工場も寒くなって参りました。じっとしては冷える一方。体を温め午後からの作業をスムーズに行うためにも、昼休憩に皆でラジオ体操を行っています！

体操の開始時間には既に集合して待っている人、ラジオ体操の音楽が鳴り始めるとどこからともなく集まって来る人たち。形は様々ですが、心待ちにされているようで嬉しくなっています。

ラジオ体操は全身運動。一曲終わる頃には全身ポカポカと温かくなってきます。これからも色々工夫しながら暖をとって、寒い冬を乗りきっていきたくと思っています。



ポカポカしてきたよ



「二〇二〇年 クリスマス会」

生活支援員 若井 将史

今年度のクリスマス会はサンタさんもマスクをつけて登場！三密回避を意識しながら、少しでも楽しい思い出が出来る様に実施させて頂きました。

内容はクリスマス絵本の読みかせ、ミニゲーム、サンタさんへハンドベル演奏のプレゼントを行い、サンタさんと一緒に楽しい時間を過ごしました。

ハンドベルの演奏で曲が始まるとWさんは立ち上がり、ベルと身体を揺らしてダイナミックに演奏をされています。Sさんは、サンタさんが登場すると手をあげて喜ばれていましたが、バク代表として参加したキッキンググスナイパーのゲームではボールを的に当てるのに苦労されていました。最後にサンタさんから手作りの雪だるまやサンタ人形のプレゼントがあり、利用者の皆さんは嬉しそうに受け取られていました。



来年もまた来てね！



「収穫の日々」

生活支援員 月又 光子

昨年は十月の寒さからそのまま厳冬に突入してしまうのではないかとかなり心配しましたが、年末まで比較的暖かな日が続いてくれました。十一月中旬から待ちに待った収穫の時期を迎えましたが、周囲の畑と比べても成長は遅く、丈も低く不安要素しか見当たらない我が家の作物たち。しかし！試し掘りしてみると、不揃いで大きさもまちまちですが土の中では地道にしっかりと成長を続けてくれていました！

注文を受けていて出荷も迫る中、皆で人参、じゃがいも、里芋の収穫を行い、予想外に大きなものを掘り出せた時は「でっかあい！」「すごいねえ」と歓声があがりほっとしました。出荷の準備も大急ぎで行う必要があり、ありがたいことに中々の忙しさでした。

草取り、水やりが長く続いた時期とは異なり、貴重な収穫作業では、人参を洗ったり、里芋、人参のひげ取り、ジャガイモの泥落とし、袋入れ、封止と多様な作業があり、利用者さんに新たな作業にチャレンジしてもらええるチャンスでもあります。興味を持って手を伸ばしたことが「できた！」と一緒に喜べるようゆっくり、じっくりと進めていきたいと思っています。



それぞれのペースで大きくなりました

日本各地に届けられました！



今後の予定

1月30日(土) 土曜開所

2月13日(土) 土曜開所

